

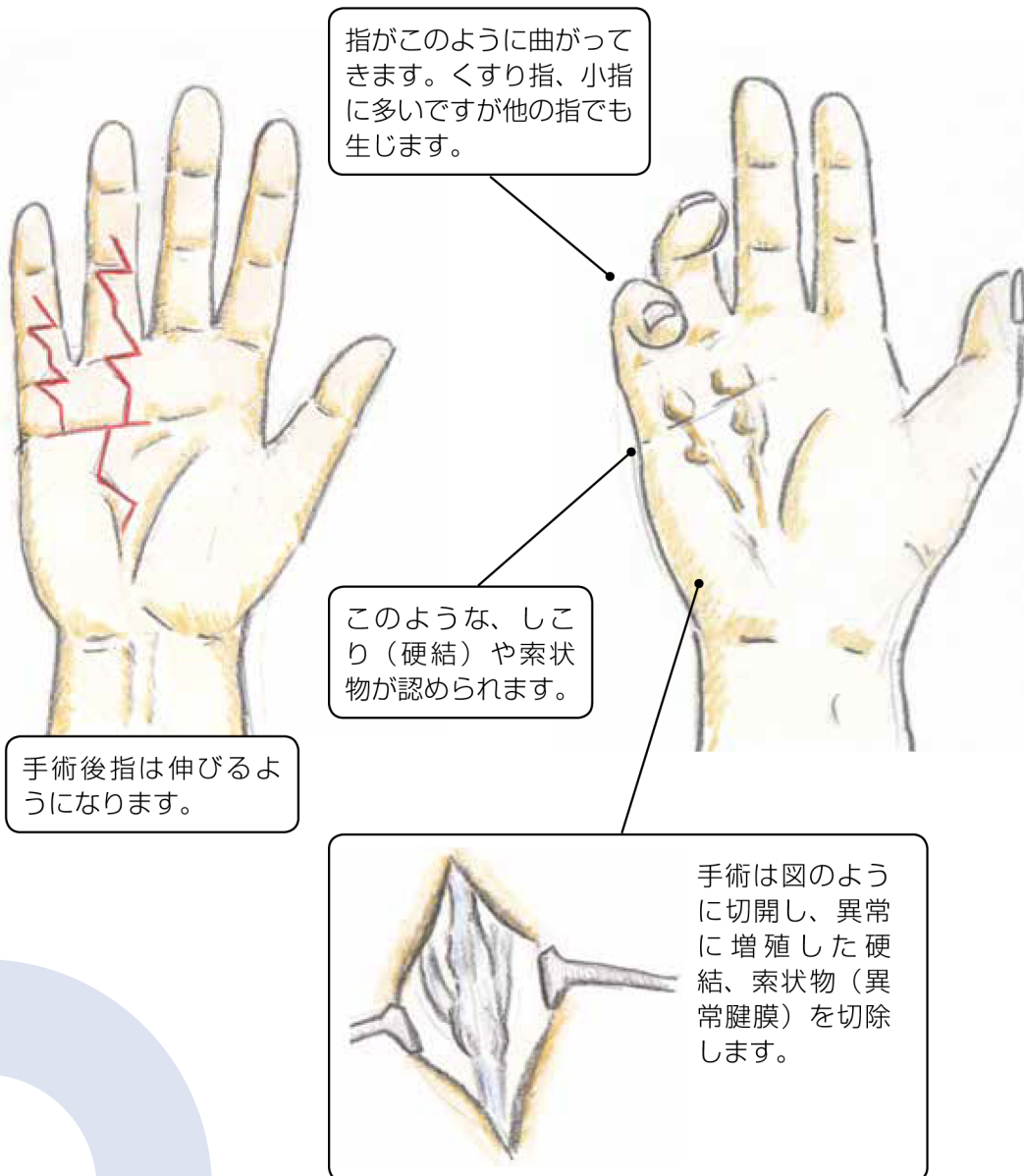
手外科領域の疾患

デュピュイトラン拘縮

手のひらから指にかけてしこりのような硬結や索状物ができて、皮膚がひきつれて指が徐々に伸ばしにくくなります。くすり指、小指に多くできますが他の指にもできることがあります。

原因は不明ですが、正常でも存在する手掌腱膜という腱膜が異常に増殖することで生じます。高齢者、男性、糖尿病を合併している場合が多くあります。また、長年にわたる飲酒歴がある方たちに多いといわれています。皮膚の疾患や、腫瘍と誤診される場合もありますが、手のひらの硬結と典型的な指の変形を呈するので、専門医がみれば容易に診断が付きまます。腫瘍ではないので、困らなければ治療は必要ありません。

指が伸ばしにくくなり、日常生活に支障をきたすようになると手術が必要となります。洗顔しづらい、ポケットに手が入りづらい、手袋がしづらいなどの症状が多いようです。手術は異常に増殖した硬結、索状物を切除する手術(腱膜切除)が行われます。



整形外科部長兼手術部長 中村 恒一